

10.4丹後に基地いらない！府民大集会・現地からの訴え、メッセージ

・2014年10月4日、京丹後市・宇川体育館で行われた『米軍基地いらない！10.4府民大集会』での宇川・地元住民、沖繩・伊佐 真次さん、GNネットワークからのメッセージをご紹介します。（文責・見出しは「府民の会」）



なぜ、交付金が出るのでしょうか、安心・安全でないから どこかの国会議員が言いました「お金でしょ」

田中さん(仮名) 地元・宇川住民

宇川地区に移り住み、自然とともに山や田にかかわり、20数年になります。

まったく、考えもしなかった今回の米軍基地建設問題は、生活の中で和を大切にしている地域に多くのクサビを打ち込みました。「賛成」「反対」、地元と地元が、地権者とそうでない人。

丹後地域は過疎、高齢化がすすむ地域ですが、多くの人々のつながりの中で、地域の活性化が広がりつつある時、基地建設はマイナス以外の何ものでもありません。30数億の基地再編交付金、また、関連する予算は、京丹後市にとっては膨大なものです。

安心・安全な基地建設なら、なぜ、こんな交付金が出るのでしょうか。安心・安全でないから、お金によって動かそうということではないのでしょうか。

どこかの国会議員が言いました、「お金でしょ」。道路は広くしましょう、田畑は整備しましょう、港に防犯ガス灯をつけましょう、だが、再編交付金は10年後になくなります。残るのは、米軍基地だけです。

軍隊は、町を破壊することこそすれ、町を活性化した歴史はありません。未来を担う子どもたちのためにも安心・安全のまちづくり、軍事基地のないまちづくりを願います。



安全・安心の軽いこと 聞きたんびに安心できなくなった アメリカの基地国はいらんです

鈴木さん(仮名) 地元・宇川住民

宇川で生まれて65年。終戦後の進駐軍、自衛隊、ここへ来て、アメリカ軍の基地ができる。

自衛隊の戦闘機が、低空で飛ぶようになったのはいつからだろう。ヘリポートもできた、そして、アメリカの基地ができる。

京都のどんづまり、水を背に負い、前は青々とした日本海、道は一本。この狭い宇川の地に、アメリカの基地国ができる。目が覚めれば消える。夢の話であれば、どれだけいいだろう。説明会ではイヤほど聞いた。安全・安心の軽いこと。聞きたんびに安心できなくなった。アメリカの基地国は絶対いらんです。誰が何と言おうと、アメリカの基地国はいらんです。

12.23 (火・祝)午後 **府民大集会** 於:丹後文化会館
★詳細は、決定次第お知らせします。

日本のどこにも基地はいらない

伊佐 真次さん 沖縄・高江から

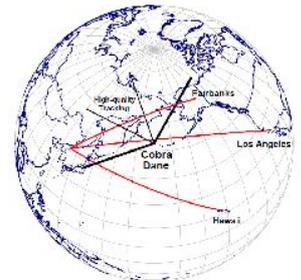
京丹後に米軍基地はいらないと結集した皆さまお疲れさまです。

私は沖縄の米海兵隊北部訓練場のある東村の「ヘリパッドいらない」住民の会の伊佐真次(まさつぐ)です。本日の集會に声をかけていただきましたが、予定が入っており参加できないことが残念です。

今沖縄は宝の海である辺野古の海を埋め立て、戦争の拠点にしようとする仲井真知事と県民の80%が沖縄に新たな基地は作らせないと声を實現させる翁長予定候補が11月16日の知事選挙に向け動き出しているところ

です。
9月7日の沖縄統一地方選挙では名護市では辺野古移設反対を訴えた仲里さん(共産)がトップ当選、稲嶺市長を支える与党が過半数をしめ再び新基地ノー！をつきつけました。東村では私、伊佐まさつぐがやんばるの森に米軍のヘリパッド建設いらないと訴え続け三度目の挑戦で当選を勝ち取りました。時間はかかりますが、非暴力を貫き、悪政には屈しないたたかう姿が評価されたのではないかと感じています。

今度の沖縄県知事選挙で勝利し安部政権を揺るがしたい。生活を守るために、子どもたちと安全、安心に過ごしたい、そのために権力に立ち向かわなければならない、今沖縄がそうであるように、京都に軍事基地はいらないと声をあげ続け日本のどこにも基地はいらないの運動を広げていきましょう、タタカイはこれからです、共に頑張りましょう。



Xバンドレーダは、先制攻撃のためのシステム

ブルース・ギャグナンさん グローバルネットワーク・コーディネーター

親愛なる友人の皆さん。

「宇宙への兵器と核エネルギーの配備に反対するグローバルネットワーク」を代表して、ミサイル「攻撃」のためのレーダーの京都への配備に反対する皆さんの集會に挨拶を送ります。「ミサイル防衛」というのは、情勢を大変に不安定にするシステムです。それは、北朝鮮のミサイルに向けられているとされていますが、実際には日米両国が、中国と軍事的に対決し、紛争をひきおこすための不可欠のシステムの一部をなしているのです。

いわゆる「ミサイル防衛」というのは、米国が行なう先制攻撃計画のなかの重要な構成要素なのです。つまり米国が中国にたいして先制攻撃を敢行した後に、中国側が応射してくるであろう第2撃ミサイルをシャットアウトし、米軍を完勝に導こうとするものなのです。

米軍には3軍を統括する宇宙司令部というのがありますが、ここは毎年、中国を米軍が先制攻撃するというシナリオを組立て、コンピューターを駆使して勝敗の帰趨を予想する戦争ゲームを行なっています。ここからもお分かりのように、アジア太平洋地域の安定と平和を維持するためには、あなた方と私たちの努力がきわめて重要な位置を占めているのです。

私たちグローバルネットワークは、2015年7月末ごろに京都で年次大会を開く計画を立てています。京都の地で、そそして経ヶ岬の地で、皆様方とお会いできることを楽しみにしています。ミサイル防衛にNOを！ 中国との戦争にNOを！ アジア太平洋地域に平和を！

Dear friends:

We send greetings from members of the Global Network Against Weapons & Nuclear Power in Space to your mass meeting opposing deployment of missile offense radar in Kyoto region. This very destabilizing system is not aimed toward North Korea but is an integral part of the growing US-Japan military confrontation with China. So-called "missile defense" is a key element in US first-strike attack planning - the shield to be used after the first strike sword is thrust against China. Every year the US Space Command holds a computer war game where they practice such a US first-strike attack on China. Your efforts are vital if we are to maintain stability and peace in the Asia-Pacific. We look forward to meeting you when the Global Network has it's annual conference in Kyoto at the end of July, 2015. Best wishes to all.

No missile defense! No war with China! Peace in Asia-Pacific!

Bruce Gagnon